# 令和７年岡山県広報コンクール審査員講評

○　特選作品について

| 部　　門 | | 市町村名<br>（過去の<br>受賞歴） | 審査において評価された点 |
|---|---|---|---|
| 広報紙 | 市　　部 | 美作市<br>（２回目） | ・表紙のデザインやレイアウトがすっきりして、タイトルカットも洗練された印象。特集はかなりの文字情報だが、罫線で区切った縦書きは読みやすかった。<br>・写真、イラスト、表の活用により、誰もが読みやすい紙面となっている。<br>・特集内容も人に焦点をあてた深掘り記事で読み応えがあり、美作での出産、子育ての現状が分かる。関連情報もしっかり盛り込み、住民の関心に応えられる内容となっている。 |
| | 町村部 | 西粟倉村<br>（３回目） | ・色彩に統一感があり、一見して広報紙とは思えないお洒落なつくりで全体的に読みやすいが、タイトルの強弱などは、もう少しメリハリがあってもよい。<br>・村外へのＰＲにも活用できそうな内容となっている。<br>・生物多様性を身近な活動の中に落とし込んでいて興味深い。<br>・村民紹介リレーは活動内容も分かる写真を併用しておりよかった。 |
| 広報写真 | 一枚写真 | 真庭市<br>（３回目） | ・「まにわこども　おでかけマップ」の紹介記事につながる写真だが、子どもの表情がよく、ピントも合っている。<br>・画として洗練されており、バランスが取れている。 |
| | 組み写真 | 備前市<br>（初受賞） | ・花火や浴衣姿の子どもたちなど、さまざまなモチーフを配置することにより、夏の祭りの様子が伝わってくる。<br>・特産品である備前焼の風鈴も取り入れ、市の魅力が伝わる写真となった。 |
| 映　　像 | | 美作市<br>（初受賞） | ・映像の美しさ、ストーリー、配役など、完成度が高い。<br>・テーマとなっている地元産品とともに、市の持つ穏やかさなどの魅力がしっかりとＰＲできている。<br>・美作番茶を軸にしながら、お茶農家で寡黙な父親の思いと、お茶への思いを持ちながらも揺れ動く娘を描いたよい作品。家族それぞれの思いが共感を呼ぶ内容となっている。 |